

地域おこし協力隊かわら版

協力隊インタビュー 伴 隊員



ラジオから流れる笑い声に、いつもつられて2人で笑っちゃう。



「先生、これどうですか？」 「いい塩梅だなあ！」



これイイ！たくさんの出会いがあり喜多方が好きになりました♪

伴 沙也加 隊員

(雄国根曲り竹細工保存会担当)

着任日：2020年8月1日着任

前住所：神奈川県横浜市から移住

活動内容：雄国の根まがり竹細工習得・PR



Instagram アカウント

@oguni.yori_

Q1 協力隊に赴任したきっかけは？

「福島に帰ろう」「帰るのであれば、福島県に関われる仕事をしたい」と漠然に思い、出会ったのは有楽町の回帰センター。そこで開催された相談会で、地域おこし協力隊の活動を紹介いただいたことがきっかけです。

Q2 協力隊としてどんな活動をしている？

雄国根曲り竹細工保存会に所属し、雄国の根まがり竹細工の技術習得をメインに活動しています。他、PR活動として出店販売の同行やInstagramでのSNS発信をしています。

Q3 協力隊活動のやりがいは？

作りたいモノが作れた時です！編みというより、その材料作りが出来るようになったこと。「編みは誰でもできる、大切なのは材料作り」と学び、常にその壁に当たってます。だから先生より「いい塩梅だ」という言葉をいただくと、とても嬉しいです！

Q4 雄国の根まがり竹細工のお勧めポイント、魅力は？

竹細工の魅力は、使い方同様に人それぞれだと思うんですが、私は「先生が作っている」ことです！先生方は私の推し(笑)推しの作品だから使いたいし、販売も頑張れます♪私は作り手、想い、、とか感情が動かされたから購入したいんですよね、きっと。

Q5 今後、どのような活動をしていきたいですか？

これまでの活動の中で、竹細工に合う柿渋染めバッグや、市内の縫製職人と会津木綿の内袋を企画制作し販売しました。今後はおぜしかプロジェクトの鹿革や、他ジャンルの職人らとのコラボにも挑戦し、販売会をしたいです♪

Q6 市民の皆さんへPR!!

いつも温かく受け入れてくださりありがとうございます。この作務衣は、雄国の大好きなあねさまにいただいた宝物。福島の職人、たくさんのいいモノとも出会いました。食や場所、たくさんの素敵で溢れている会津。ぜひ皆様のおすすめも教えてください♪また出店イベントで皆様とお会いできることを楽しみにしています。

発行：地域振興課

制作：NPO 法人かけはし

(0241-24-5306)